

### 第3回部活動部会 会議要旨

とき 令和2年1月16日(木)

ところ 北方南小学校 校長室

※会議の主な内容は以下のとおり

司会者：定刻になったので、第3回部活動部会を開始する旨を告げる。

(19:00 開始)

事務局：資料をもとに前回の協議で課題となっていた点を中心に協議を進めることとする。

(主な協議内容)

○部活の合同チーム編成について、今では様々な制約があるが今後条件が緩和されるように要望している。

⇒かつては合同チームにして有力な選手を固めてしまっただけという点が問題視されていたようだが、子どもの数が減ってきている中、制約を厳しくしすぎるとかえって競技人口が減ってしまうなどの弊害の部分が大きくなってきていると思う。

⇒多くの他市町でも似たような状況にあると思う。よい方向に進むとよい。

○現在の部員を南北に分けると多くの部活で合同チームが必要になると思われる。

⇒合同チームとするとしても、その年の5月頃に部活の人数が確定し、それから指導者の体制を整えるというのは難しい。早めに人数が把握できないか。

⇒今でも小学校の部活見学会をやっているが、そういう場で早く人数把握できれば部活の仮入部期間とかも必要なくなり、4月の早い段階から部活動をスタートできることにもなると思う。

⇒北方学園になれば部活の意向調査はよりスムーズにできるようになるし、例えば5年生からの部活参加を認めるということもできると思う。

○部活の人数希望調査をすると、部員が多いからやりたいけど別の部活にするとか、子どもの自由選択に影響する可能性があるのでは。

⇒かつては事前調査をして部活動の間で人数調整をしていた頃もあった。指導者や設備の問題を考えると合理的な部分もあるが、今はそこまではやっていない。

⇒人数調整の役割を部活とジュニアクラブの関係の中で解決できるとよいのでは。

○部活の中でもどんどん上を目指して練習したい子と楽しく競技に親しみたい子がいると思う。そのあたりの棲み分けを明確にする方法もあるのでは。

⇒積極的に競技を続ける自信がない子が初めから入部をあきらめるのではなく、気軽に入部でき、その後に自信をつけて上を目指して頑張るようになる場合もあると思う。

○小学生の部活参加について、指導者側の人数把握という面のほかにも、部員のモチベーション向上にも効果があると思う。中学生が小学生のあこがれの存在となり、よりやる気を出して取り組むようになると思う。

事務局：今年度の部会での協議は以上として、3月の開校準備委員会で協議内容を報告することとする。来年度は部活動に必要な設備等の協議のほか、今年度の協議内容を継続していくこととする。

部会長：本日の協議は以上とする。開校準備委員会で報告内容については後日、部会の皆さんとも情報共有することとする。

(20:45 終了)